

卒業生（会員）の活躍や母校の発展、本会の活動を紹介していただきました校友会会報の「英知」が、諸般の事情により平成22年から休止をしていましたが、会員や役員の皆様からの熱いご希望を受け、9年ぶりに装いも新たに発行いたします。

会報「英知」復活 9年間の時を経て

「英知」は、校友会の大きな事業の一環として発足間もない平成15年3月に創刊され、年2回のペースで発行をしておりました。各号では、その時期にできる限りのタイムリーな情報を掲載して、卒業生や母校の現状をお伝えしてきました。しかし、第7号（22年7月）を発行した後、印刷会社

への委託から自主出版を目指し準備を進める中で東日本大震災が発生するなど、いくつかの要因が相まって発行が休止状態となりました。

「英知」は、9年ぶりの時を経ての再出発となります。本誌を通じて校友会が

(H)onesty（誠実で）
(I)deal（理想的な）
(U)nion（団体）

となれるよう、記事を充実させていきますので、皆様からの情報の提供をお願いします。本誌は、H・I・Uの精神で同窓生相互の親睦と母校との懸け橋となります。

原点回帰で絆を深める



校友会会長 増田 理栄子（27年度卒）

「平成国際大学校友会」は、2001年、同窓会組織として会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与することを目的として設立されました。いまや4000名以上となった会員の皆様

が各界で活躍されていることは、喜ばしい限りです。

母校は、2017年4月、新たにスポーツ健康学部が設立され、今まで以上に地域社会へ貢献する人材を輩出する大学となりつつあり、2020年には、開学25年目を迎えます。

会報誌「英知」は、ここ数年間、発行されない状況が続きました。この間、会員の皆様には、校友会の存在と活動をご理解いただけなかったことを残念に感じています。

これを機会に校友会としても原点に立ち返り、会報誌「英知」の発行も含め、同窓生の人的連携を深め、校友会として多方面にわたり活動を活性化させ、絆を深めていく所存です。

会員皆様の、より一層のご支援・ご協力を賜りたく、どうぞよろしく願いたします。



第8号

2019年9月発行

学校法人 佐藤学園
平成国際大学 校友会会報

同窓生諸君へ感謝と決意と哀願とを

平成国際大学 学長 堂ノ本 眞



同窓生諸君には、進まれた各業界において益々ご活躍のことと拝察、愁眉が開くと同時に本学の教育諸活動へのご理解とご協力に對し心より厚く御礼申し上げます。

お陰様で学生を取り巻く教育環境は年々充実をし、ある統計では就職率でベスト10に列せられ、公務員試験においても毎年一定の合格者を確実に出せ、また、部活動では世界選手権出場やリーグ戦昇格など、教育活動において大きな成果を上げることができています。今年度からは、駅伝において留学生を受け入れ、箱根路を今までの以上の気概で目指すこととしています。すべては皆さんからのお力添えの賜物と、感謝しております。

今後本学では、教職員一同、建学の精神「人間是宝」の具現化に努め、学生が持つ無限の可能性を開花させ、夢や目標を実現させられるよう精進してまいりますので、同窓生諸君には、倍旧のご支援を賜りますようお願いを申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

まもなく25年

校友会顧問（教授） 酒井正文



このたび、校友会誌「英知」が復刊されました。喜ばしい限りです。

卒業生の皆さん、如何お過ごしですか。平成国際大学は、1996年4月、238名の学生が入学してから、まもなく四半世紀を迎えます。卒業生の数も、4000名を超え、校友会も成長を続けています。勉学に勤しんだその日々、勝利の喜びと敗戦の屈辱に涙した部活の日々、そして友や師とのかけがえのない日々、このキャンパスには皆さんのこうした軌跡が刻まれています。

校友会は、「母校の発展と会員相互の親睦を図ること」を目的とする同窓組織です。同時に校友である皆さんと、あとに続く現役生とを結ぶ絆でもあります。よき先輩を仰いで後輩は育ちます。ホームカミング、大学祭などはそのよい機会です。旧友と語らい、また学生を励ましてください。

教職員も校友との絆を大切に、皆さんが胸を張れるような「母校」をめざして全力で取り組んでまいります。